

第 11 回東日本小学生親善野球大会開催要綱

1. 目的
小学生の健全な心身の育成と技術の向上及び、冬期期間中積雪等により野球が出来ない地方のチームを招き、地域、チーム間相互の親善と融和を図る事を目的とします。
2. 主催
東日本小学生親善野球大会実行委員会
3. 期 日
令和 2 年 1 月 11 日（土）・12 日（日）・13 日（祝月）予備日
4. 会 場
三鷹市 武蔵野の森公園 大沢総合グラウンド C 面・D 面・E 面 の 3 面
東京都三鷹市大沢 5-7-1

府中市 都立武蔵野公園（小）野球場 の 1 面
東京都府中市多磨町 2-24-1

調布市 関東村跡地 の 1 面
東京都調布市西町 290
5. 参加資格
令和 2 年 4 月 2 日にて小学生の児童にて編成されるチームとします。
大会開催予定日 3 日間参加可能なチームとさせていただきます。
参加選手、指導者の方はスポーツ損害保険等に加入している方に限ります。
6. 使用球
ナガセケンコー J 球（主催者にて用意いたします。）
7. 参加費
10,000 円（大会当日に持参のこと）
8. 表彰
優勝、準優勝、三位、敢闘賞（本戦、交流大会双方）
※本戦、優勝チームにはレプリカの他に持ち回り優勝旗、優勝カップ、準優勝チームにも持ち回り準優勝カップ。
※優勝、準優勝、三位チームに賞状。
※交流大会、優勝チームにはレプリカの他に持ち回り優勝カップ。
9. 試合方法
☆トーナメント方式

☆1 回戦敗戦の場合、交流大会に移行

☆組み合わせ抽選は主催者にて行わせていただきます。

☆1 日目、2 日目 のスケジュールが予定通り消化した場合、予備日にて交流試合を組みたいとおもいます。
初日の大会受付時に、3 日目のご予定等をお聞き致しますので、お申し出下さい。
10. 競技規則
☆試合は 80 分 7 回戦 70 分を過ぎて新しいイニングに入らない。

☆得点差によるコールドゲームを適用する。4 回終了時 10 点差、5 回以降 7 点差とする。
☆同点の場合、タイブレークにて勝敗を決定します。
ノーアウト満塁 継続打者 走者前走者にて一回行い、勝敗が付かない場合、試合終了時の出場選手各チーム 9 名にて抽選で勝敗を決定いたします。

☆選手登録は30名迄 但し、試合出場は20名迄とし 試合開始前にメンバー表記入の上、提出して下さい。

☆ 投手の投球球数制限の適用は致しません。但し投手の投球イニングは一日7イニングまでとし、投手がマウンドに立っても投球するまでなら、イニングに換算しないものとし、特別延長も投球回数に換算しないものとします。
尚、投手の球数については各チーム指導者にて配慮下さい。

☆ベンチ入り出来る大人は代表者 監督 コーチ2名 スコアラー 世話人保護者2名 計7名といたします。

☆審判は各グラウンドの試合の無いチームの審判員各2名にて。
主審は抽選番号の若い番号のチーム審判員にてお願いします。
決勝戦（本戦、交流戦双方）は実行委員会にて手配いたします。

☆トーナメント表 タイムスケジュールは別紙の通りとなります。

☆次試合当該チームは前試合開始30分経過した後 又は3回終了後 先発バッテリー及び指導者1名は投球練習をグラウンド内にて許可いたします。

☆日没が早い為、試合前のシートノックは行いません。
攻守の交代は迅速に、先頭打者、ランナーコーチは速やかに所定の位置について下さい。

☆試合中のボール回しは禁止といたします。

☆試合中のタイムは1試合、攻撃時2回迄、守備時2回迄とします。

☆使用する野球用具は全てJ S B Bの明記が有るものを使用して下さい。

☆ベースコーチ(選手に限り、大人は不可。)も両側にイヤーフラッグのついたヘルメットを着帽して下さい。

☆投手の投球練習時、キャッチャー及びサブキャッチャーはメンを着用して下さい。

☆その他記載無き事項については2019年度公認野球規則によるものとします。

11. その他

☆ファボールは打球の近い側のベンチにて拾って下さい。
☆武蔵野の森での試合前の練習時、芝生上での素振り、バッティング練習は禁止となります。土の上でお願いいたします。
☆試合中の抗議は監督、当該プレーヤーといたします。
☆各チームの出したゴミ等は責任をもってお持ち帰り下さい。

12. 開会式

令和2年1月11日 土曜日
集合受付 午前8時より
開 始 午前8時30分より 武蔵野の森大沢総合グラウンドD面にて
※各チームプラカードをお持ち下さい。

13. 表彰式

令和2年1月12日 日曜日
全日程終了後 武蔵野の森大沢総合グラウンドD面にて。
※各チーム試合終了後、プラカードをお持ちの上、速やかにお集まり下さい